



令和3年11月26日

院長 三和 拓人

～イボはなかなか厄介です～

年末も差し迫ってきました、すっかり冬本番という感じです。皆様いかがお過ごしでしょうか？
今月は最近なぜか受診される方が多い「イボ」について説明させてください。
まずは普通の(尋常性)イボから。疣贅(ゆうぜい)というのはイボのことです。

じんじょうせい ゆうぜい
尋常性疣贅

原因	▶ ヒト乳頭腫ウイルス(human papillomavirus:HPV)2型や57型など
症状	▶ 手足の指に出現する角化性の小丘疹 ▶ 足底に出現する場合は歩行で痛みを伴う場合も
治療	▶ 液体窒素による凍結療法 ▶ 他ヨクイニン内服、活性型Vit.D3外用、レーザーによる削切、モノクロロ酢酸外用など

ウイルス性疣贅が出来る仕組み

ウイルスは、皮膚の毛根突起にある細胞に寄生し、繁殖して「いぼ」を形成します。

ウイルス性疣贅を発症した皮膚

- ① 皮膚の傷から入り込んだウイルスは、最初に毛根突起に感染する。
- ② 感染した毛根突起を繋り合って増殖する。
- ③ その後、着地した毛根突起、裏面に近い角化細胞に感染する。
- ④ 感染した角化細胞が増殖します。(ウイルス性疣贅)

状白色の表面が
サクサクした感覚上有利

Q. イボはうつりますか？

はい、うつります。左図にあるように荒れた皮膚からウイルスが侵入します。一つのイボがどんどん広がるのはそのためです。

ただし、ウイルスに対する抗体ができるとうつりません。大人にこのイボが出来にくいのはこの理由です。

Q. 予防法はありますか？

ヨクイニンはハトムギの種子を抽出したもので、免疫力アップにつながります。ハトムギ茶を飲み続けるといいかもしれません。

参考資料: 1. 2. 3. 4.

次に老人性のイボの説明です。

老人性疣贅(脂漏性角化症)

原因

- 加齢で肌の新陳代謝が衰えたり、長年に渡り紫外線を浴び続けることで、排除しきれないメラニンが少しずつ蓄積するために起こります

症状

- 顔面など日光の当たるところに多発します。ほくろと見分けがつきにくいですが、指で削るとボロボロかさぶたのようにとれるのが特徴です

黒褐色の
盛りトがふ
イボ

治療

- 液体窒素による凍結療法
- 他レーザーで切除術、電気メスで焼灼術、外科的切除術等



Q. ガンの可能性は無いですか？

老人性疣贅自体にガンの可能性はないです。ですが、基底細胞癌、日光角化症、悪性黒色腫(メラノーマ)という皮膚癌と見た目が類似している場合が多いです。

また老人性疣贅が一気に増えると、内臓の癌を反映している場合もあります。

Q. 予防法はありますか

- ◆ 紫外線を避ける事
- ◆ 保湿をする事
- ◆ Vit.C, Vit.Eの摂取等があります。

各務原市那加桜町2-368 Tel 058-383-6800

各務原市那加桜町2-368 Tel 058-383-6800

三和皮フ科HP : <http://miwahifuka.org/>